

## ●当院の臨床研修の特色

当院の臨床研修は、研修医が配属された診療科だけでなく、病院全体が行うという考え方に立っています。将来の専門性に関わらず、社会的なニーズに対応できるよう、研修の目標としてプライマリーケアに要求される知識・技能及び態度の修得を含む幅広い能力を持った医師養成を目指しています。研修は、教育研修部や各科指導医のもとで、セミローテート方式で行われており、必修科目を踏まえた上で、本人の希望を重視した自由度の高いプログラム構成を行えるようになっていきます。プログラムは、研修開始時に2週間のオリエンテーション研修を行い、病院医師としての必要最低限の行動能力を身につけ、救急医療に必要な検査を実施できるように考慮し、原則として必修義務科である内科（6月）、救急科（2月）は、1年次に研修を行います。その他、麻酔科（2か月）、外科（1か月以上）、小児科（1月）、地域医療（1月）、精神科（2週間）、保健所（1週間）が必修となります。95か月間を選択希望科にあてることができ、各研修医の希望に応じた柔軟なプログラムを組むことが可能です。内科においてはマンツーマンの指導を受け、研修医が指導医を指名できます。救急患者の診療については、1年次は2年次研修医・上級医の指導を受けながら、副当直として診療にあたり、救急対応能力を身につけることができます。救急科研修中は、希望すればドクターヘリに搭乗することができます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：山形県立中央病院臨床研修プログラム／飯澤 肇
- 研修スケジュール 募集人数 16名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科（オリエンテーション含む）						麻酔科			救急科			小児科
2年次	地域医療	外科			選択希望科								
	精神科（2週間以上）		地域保健（1週間）										

## ●協力型病院名（科目）

山形県立こころの医療センター（精神科）	二本松会山形さくら町病院（精神科）
---------------------	-------------------

## ●協力施設

白鷹町立病院 町立金山診療所	西川町立病院 山形県村山保健所	酒田市立八幡病院 山形県赤十字血液センター
-------------------	--------------------	--------------------------

## ■教育体制

- ・各診療科の責任者の指導の下に各科の科長、室長の指導も受け、病院全体で研修医を育てる雰囲気を作っています。
- ・研修医による“研修医会”を設けており、自らの企画・運営により『研修医向け講義（月に2～3回）』、『救急レビュー（救急患者の症例検討会）（週1回）』、『研修医プレゼンテーション（不定期）』を行っています。
- ・教育研修部は、研修医の要望・意見・悩み等を受け、院内との調整を図り、研修医の一人一人がより充実した研修ができるようにサポートします。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

かつてマッチングに3年連続欠員を出した反省から、研修医の待遇改善を図ってきました。また平成24年度に敷地内に2棟目の研修医用官舎を整備し、初期研修医全員が官舎に居住可能となり、平成25年度からは5年連続でフルマッチとなっています。当院の研修医は東北地方の大学の卒業生が多いですが、全国各地から卒業生が在籍し、切磋琢磨しています。「見学の際に救急医療の現場で研修医が生き生きと働く姿を見て研修先として選んだ」と言ってくれる研修医が多く、皆さん主体的に研修を行っています。初期研修修了後も当院で後期研修されることを希望していますが、他院で初期研修を行った先生が、当院で後期研修をされることも大歓迎です。専攻科を決定していない後期研修医のために複数科のローテーションも可能としております。

### ●先輩研修医から一言

山形県立中央病院の初期研修プログラムは柔軟性が高く、ローテーションを自分で決めることができ、内科に関しては指導医も選択できます。興味のある診療科を好きな時期に選択できることも魅力です。自分が選んだということがモチベーションにもなりますし、どの指導医の先生も個性豊かに私たちを良い方向へ導いて下さいます。救命救急センターは1～3次まで幅広く受け入れており、様々な症例を経験することができます。研修医主体で診療を行うので、実践の中で力がつき責任感も身につく、自身がエビデンスに基づいて診療しているかを常に考えることができます。研修医向けの講義と救急レビュー（経験症例の振り返り）が週に1回ずつあり、実臨床に即し、研修医の意見を反映した内容になっています。山形県立中央病院には、柔軟性の高い研修プログラムと熱意に応じる環境があります。一緒に充実した研修を送りませんか？

## ■病院理念

- 理念：県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療
- 方向性：
  - ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します
  - ・医療従事者として倫理綱領を守ります
  - ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します
  - ・信頼される救急医療を提供します
  - ・地域医療、福祉との連携をします
  - ・将来を担う医療人の教育、育成を行います
  - ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

山形県の医療の中心としての役割を担う高度医療を実践しています。人材の面でも、各診療領域で県内随一の優秀なスタッフを揃えています。救命救急センター、がん生活習慣病センターを併設、総合周産期母子医療センター、緩和ケア病棟を備え、長期療養型の疾患以外は全ての疾患に対応しています。また、平成28年には、ハイブリッド手術室を設置し、さらに本院の強みを活かした3つの診療センター（循環器病センター、内視鏡センター、緩和ケアセンター）を導入し、体制強化を図りました。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	心内	精	神内	消内	循内	感内	腫内	小児	外	整	形	脳外	呼外	心血
医師数	16	1	(1)	4	13	11	1	1	11	21	5	3	5	4	4
指導医数	9	1	(1)	2	5	4	1	0	6	8	3	1	3	2	3

診療科名	消外	乳外	小外	皮	泌	産婦	眼	頭・耳鼻	放	麻	病理	救急	緩和	他	合計
医師数	(21)	2	2	1	5	6	2	4	4	8	4	9	1	4	152
指導医数	(8)	1	2	1	2	2	0	2	3	4	2	5	1	1	74

- 許可病床数：660床（一般 658床、感染症 2床）
- 入院患者数（1日平均）：494.3人
- 外来患者数（1日平均）：1,136.1人
- 平均在院日数（一般病床）：11.7日
- 分娩件数：525件
- 救急医療の提供実績：当直体制は8～9人（うち2名はNICU、MFICU専従）の医師で取り組んでおり初期研修医・後期研修医は救急医療の重要な担い手になっています。当直医以外にも、各診療科でオンコール体制をとっており24時間あらゆる疾患に対応しています平成24年11月からは山形県ドクターヘリの運航が開始され基地病院としての役割を担っています。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：18,997件
- 救急車取扱件数：3,510件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】356,584円（月額、手当・税込）、5,800,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】374,680円（月額、手当・税込）、8,000,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（365日24時間の開所。日中のみ病児・病後児も預かります。）  
【その他】山形県として「病院事業局特定事業主行動計画（後期計画）」を策定し、各種制度の充実や時間外勤務を縮減するなどの、仕事と子育ての両立のための職場環境づくりに取り組んでいる。

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：16名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)申込書 (2)履歴書 (3)成績証明書 ※(1)(2)については、所定の様式あり
- 試験内容：(1)筆記試験 (2)面接試験
- 申込締切日：平成29年7月末日（予定）
- 試験実施日：平成29年7月～8月（予定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 16名 うち女性 5名  
2年次 16名 うち女性 5名
- 研修医の主な出身大学：山形大学、東北大学、福島県立医科大学、弘前大学、岩手大学、秋田大学、自治医科大学、岐阜大学、獨協医科大学、東京慈恵会医科大学、藤田保健医療大学
- 当直回数：3回（当直は1年次の5月から開始）
- 研修修了後の進路：当院後期研修 11名、鶴岡市立荘内病院、東北大学病院 1名、仙台オープン病院 1名、新潟大学医歯学総合病院 1名、東京都立神経病院 1名、東邦大学医療センター大橋病院 1名
- 後期研修プログラムの有無：有り（全診療科）

## ■申し込み、問い合わせ先

山形県立中央病院  
教育研修部  
990-2292 山形県山形市大字青柳 1800番地  
TEL 023-685-2626（代表） FAX 023-685-2601  
E-mail lib@ypch.gr.jp

## ●当院の臨床研修の特色

- ①自由度の高いプログラム：内科6月、救急1月、麻酔1月、地域医療1月と選択必修1科以外は、自由に選択した希望科研修が可能です。
- ②充実した救急研修：1年次に麻酔科で循環・呼吸器管理の研修と救急室での救急搬送患者診療を併せて2ヶ月行います。さらに2年間の研修期間を通じて時間外・休日の救急室診療を内科系・外科系それぞれの指導医とともに行います。救急搬送患者数は二次医療圏内最多でプライマリーケアから2次、3次のファーストエイドまで幅広い診療と適切な判断能力を獲得できます。
- ③バランスの良い内科研修：当院内科は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内科（糖尿病・内分泌、腎臓、血液内科）、神経内科に分かれておりますが、3科以上・各2ヶ月以上を必修にしております。各科の診療レベルや症例の質・数のバランスが取れており、偏らない内科研修ができます。
- ④当院は地域がん診療連携拠点病院であり、集学的がん治療はもとより鏡視下手術が盛んです。また二次医療圏の脳卒中拠点病院となっており到達点の高い研修ができます。
- ⑤全ての診療分野で熱意溢れる指導医が、良好な指導医・研修医関係のもとで、研修医が知識や技術の統合的な構築ができるよう導きます。
- ⑥当院は地域医療連携、チーム医療、インフォームドコンセント、バスによる医療の標準化や患者満足度の向上に力を注いでおり、医療人として必要なさまざまなスキルを身に付けることができます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：山形市立病院済生館医師臨床研修プログラム／出川 紀行
- 研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科						救急	麻酔	選択必修	選択科		
2年次	地域医療							選択科				

### ●協力型病院名（科目）

二本松会上山病院（精神科）
---------------

### ●協力施設

朝日町立病院	白鷹町立病院
--------	--------

## ■教育体制

- 研修管理委員長名及び役職：副館長兼臨床研修センター室長 野村 隆
- 臨床研修病理研究会の実施状況：年5回
- 研修医のための勉強会：救急講習会5月に10回、研修発表会年10回、症例検討会年20回
- 病院行事：職員旅行、花笠祭参加、職員大忘年会の他、医局親睦会での行事多数。各診療科の指導医による教育はもちろんのこと、研修センター所属の医師が研修管理責任者となり、実際の研修にあたっての進行チェック、指導・相談にあたります。また、チーム医療重視の観点から、看護師長によるチェックも行われます。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

研修に当たり、研修医には、プライマリーケア・各疾患の理解を含めた医学・医術の習得はもちろんのこと 最終的には、医師としての基本姿勢をもち、人間性豊かな医師形成を目指し、指導します。各科の研修では、ほぼ1対1で指導・教育するため、責任の所在がはっきりしており、安心して研修に臨めます。それぞれの研修科での担当医師が複数いるため、様々な観点から知識・技術の習得もできます。また、院内・外での発表報告においても懇切丁寧に指導し、プレゼンテーション能力を向上させます。2年間の初期研修で、今後どの病院に行ってもそれなりの医療レベルを持った医師としてのスキルが身に付きます。

一緒に働きましょう

### ●先輩研修医から一言

当院の救急搬送件数は山形市で最多であり、waik in患者も含め初期対応は研修医が中心となって行います。軽症例からCPAまで幅広い疾患の対応を学ぶことが可能です。さらに、月1回の救急症例検討会で、研修医同士で知識を共有し、各科指導医から助言をいただいています。

また当院の研修医は1学年10人と多すぎない人数ですので、病棟研修でも多数の症例を受け持ち、上級医指導のもと多くの手技を経験できます。指導医に気軽に相談できる環境であるため、難しい症例についても指導医とのディスカッションの中で理解を深めることができます。研修医のうちから、学会発表も積極的にを行っています。

研修医同士の仲が良く、上級医やメディカルスタッフとの垣根も低いため、ストレスなく研修に専念できる病院だと思います。

## ■病院理念

### 基本理念

山形市立病院済生館は、生命の尊厳と人間愛を基本として、皆様の健康を守るため、保健・福祉と連携し、地域の基幹病院としての使命を果たします。

### 基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、相互の信頼関係を大切にします。
2. 病院機能の充実と職員の資質を高め、医療水準の向上に努めます。
3. 市立病院として健全経営を図り、良質な医療を提供します。
4. 地域医療機関との連携を深め、役割分担を図りながら患者様が安心して医療を受けられるよう努めます。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
  - ・癌の集学的治療（特にリニアックなど最新の放射線治療システム）
  - ・病院の診療機能を最大限発揮するための地域医療の推進
  - ・各科充実バックアップ体制の24時間救急医療

### ●診療科・医師数

診療科名	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	内科	神経内科	小児科	皮膚科	放射線科	外科	整形外科
医師数	6	3	3	10	3	6	2	3	10	4
指導医数	4	2	3	8	3	4	1	2	6	3

診療科名	脳神経外科	リハビリテーション科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	麻酔科	歯科	その他	合計
医師数	4	1	4	3	3	4	3	1	2	75
指導医数	2	0	2	2	1	1	3	0	1	48

- 許可病床数：585床（一般585床）
- 入院患者数（1日平均）：423.1人
- 外来患者数（1日平均）：787.9人
- 平均在院日数（一般病床）：11.9日
- 分娩件数：382件
- 救急医療の提供実績：当院は、山形市を中心とする二次医療圏において救急医療の中核となっております。救急搬送件数は二次医療圏内の救急病院の中でも群を抜いて最多となっており、1日平均約15件以上の搬送があり、一次から三次まで十分な救急医療研修が可能です。
- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：18,966件
- 救急車取扱件数：5,289件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】430,300円（月額、手当・税込）、5,600,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】487,100円（月額、手当・税込）、7,500,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：1年次：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険  
 2年次：市町村職員共済組合、共済年金、地方公務員災害補償法
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7:45～19:00）  
 【その他】宿日直の免除

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：10名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験受験予定者等
- 応募必要書類：履歴書・臨床研修申込書（様式は病院ホームページにて）
- 試験内容：(1)記述式試験 (2)面接
- 申込締切日：第1回：平成29年6月予定 第2回：平成29年7月予定
- 試験実施日：第1回：平成29年7月予定 第2回：平成29年8月予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 10名 うち女性 1名  
 2年次 6名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：山形大学、東北大学
- 当直回数：月4回（救急講習会受講後、1年次の6月から開始）
- 研修終了後の進路：当院シニアレジデント、山形大学医学部附属病院、東北大学病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（全診療科）

## ■申し込み、問い合わせ先

山形市立病院済生館 990-8533 山形県山形市七日町一丁目3番26号  
 TEL 023-625-5555（内線2328）FAX 023-642-5080  
 管理課総務企画係（病院見学については、病院ホームページの専用フォームから申し込んでください。） E-mail kensyu@saiseikan.jp

## ●当院の臨床研修の特色

● 本院では将来の専門領域にかかわらず、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、ファーストエイドとプライマリ・ケア（初期処置）の基本的な診療能力を身に付けることができ、また、高い倫理観を涵養できる内容をもった研修を行うことができます。プログラムは、3か月ごとの研修ブロックを組み替えてスケジュールを設定できる自由度の高いプログラムのほか、将来の専門性を考え、外科、救急・麻酔、小児科、産科婦人科の各科に特化した重点コース等を用意しており、個々の研修医の希望に添ったプログラムを選択することができます。また、県内医療機関との密接な協力体制のもとに関連病院での研修も可能となっています。

● 2年間の卒後臨床研修後にそれぞれが専門分野について、より高度な臨床知識を修得し、臨床技術を獲得していく課程へと医学の研修を進めていくための基礎固めが十分にされるように配慮しており、後期研修、さらには生涯教育システムへスムーズに移行していく医師教育システムの一環として整備しています。さらに後期研修、生涯教育でも関連病院との密接な人的交流が可能となっています。

● 研修医とセンター教員の連絡会を定期的に開催し、研修医の要望や意見を聞きながら、よりよい研修制度を作っていくことを目指しています。

## ●プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム A／鈴木 民夫**  
 ●研修スケジュール 募集人数 38 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科		内科			救急			希望科			
2 年次	地域医療	選択必修	選択必修	希望科		希望科		希望科				

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム B／佐藤 慎哉**  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科		内科			外科			救急			
2 年次	希望科		小児科	精神科	産婦人科	地域医療	希望科		希望科			

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修外科重点コース／平井 一郎**  
 ●研修スケジュール 募集人数 4 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	外科		内科			内科			救急			
2 年次	地域医療	選択必修	外科					希望科				

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修救急・麻酔重点コース／中根 正樹**  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	救急・麻酔		救急			内科			内科			
2 年次	地域医療	選択必修	救急・麻酔					希望科				

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修小児科重点コース／佐々木綾子**  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	小児		内科			内科			救急			
2 年次	地域医療	選択必修	小児					希望科				

●プログラム名／プログラム責任者：**山形大学医学部附属病院卒後臨床研修産科婦人科重点コース／高橋 一広**  
 ●研修スケジュール 募集人数 2 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	産科婦人科		内科			内科			救急			
2 年次	地域医療	選択必修	産科婦人科					希望科				

●協成型病院名（科目）

山形県立中央病院（内科、外科、小児科、産婦人科（ほか 8 診療科）	日本海総合病院（内科、外科、小児科、産婦人科（ほか 8 診療科）
公立置賜総合病院（内科、外科、小児科、産婦人科（ほか 8 診療科）	山形市立病院済生館（小児科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科）
米沢市立病院（内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産婦人科（ほか 7 診療科）	山形済生病院（内科、外科、小児科、産婦人科、放射線科、整形外科）

他 18 施設

●協力施設

朝日町立病院	町立真室川病院	最上町立最上病院
公立置賜長井病院	公立置賜南陽病院	北村山公立病院
山形県村山保健所	公益財団法人やまがた健康推進機構	

他 3 施設

## ●教育体制

- 研修当初に実習を多く取り入れたオリエンテーションを実施しています。
- 研修を行っている診療科の症例検討会に参加できます。
- 将来のために有益であると判断された場合は、関係学会へ出席できます。
- 研修指導は、センター教員会のメンバーが研修医の担当教員となり、各診療科の指導医とタイアップし、毎月開催されるセンター教員会議において研修の進捗状況をチェックしながら、きめ細かな指導を行っています。
- 研修医になって身につけてほしいポイントについて、各診療科の医師が 12 回にわたり講義を行うセミナーを開催しています。

## ●メッセージ

### ●指導医から一言

卒後臨床研修先を選ぶ際には、施設・設備などのハード面はもちろん大事ですが、指導してくれる先生・体制などのソフト面がより大切です。本院では卒後臨床研修に関わるすべての医療スタッフが、皆さんが医師としての確実な一歩を踏み出すためにあらゆるサポートをしようと努力しています。各科の研修指導医を中心とした「教員会」では、毎月開かれるミーティングを通して研修の進捗状況を確認するとともに、各研修医に担当教員を配置して細かな点まで相談にのるようにしています。当院は各診療科間の横の連携が非常に良いのが特徴で、研修医も診療科横断的な患者さん中心の医療を体験することになるでしょう。熱意にあふれた指導教員と最新の設備、切磋琢磨する研修医仲間が揃っている本院の環境を十分に活用して、積極的に研修を進めていただきたいと思います。

### ●先輩研修医から一言

大学病院での研修の利点は、診療科が豊富であること、指導医が多いことが挙げられます。本院では研修スケジュールの自由度が高いため、志望科を重点的に回る、たくさん診療科で様々な視点から勉強するといったことができます。3 次救急を担う病院ではありませんが、救急の場では高度医療を必要とする疾患だけでなく common disease を診療する機会も多く、上級医が常に救急部にいるため、必要な検査や処置など相談しやすい環境になっています。また学生時の存在も大きく、指導する立場になることで自分自身の知識の定着にもつながります。基本的な診療能力を身につけ、将来について考える上でとてもよい研修先だと思います。

## ●病院理念

人間性豊かな信頼の医療

1. インフォームド・コンセントに基づいた医療  
インフォームド・コンセントに基づいて、患者との良好な信頼関係を築き、誠意をもって医療を行います。
2. 地域に開かれた医療  
病院としての公共性を十分に認識し、地域に開かれた医療を志します。
3. 最高水準の医療  
日夜勉学に励み、時代の先端に行く最高水準の医療を提供できるように努力します。
4. 厳しい倫理観を持った創造的な医療人の育成  
常に厳しい倫理観を持ち、患者のプライバシーを尊重する創造的医療人の育成を目指します。

## ●診療内容

●診療の特徴、実績

平成 17 年度から大学医学部としては全国にさきがけて、山形大学医学部がんセンターを設置し、最先端のがん治療を実践する病院として活動しております。平成 19 年 9 月から開始したキャンスーチートメントボード（がん治療会議）では、様々な専門家が一堂に集まって、個々の患者さんの治療方針を決めています。また、がん化学療法室を設置し、抗がん剤による各診療科の治療が安全に、効果的におこなえるようなサポート体制を整備しています。そのほか、急性期医療に特化した病院機能を充実させるため、高度集中治療センター（ICU、HCU）、NCU、GCU を設置しています。

●診療科・医師数

診療科名	1内	2内	3内	小	精	皮	放	1外	2外	脳外	整
医師数	33	23	23	20	14	17	21	15	20	9	21
指導医数	5	6	3	4	4	4	6	3	1	4	4

診療科名	産婦	眼	耳鼻	泌	麻	高次脳	腫瘍	病理	形成	救	合計
医師数	21	16	19	16	23	2	6	5	3	3	330
指導医数	6	2	3	5	5	2	1	0	1	3	72

●許可病床数：626 床（一般 590 床、精神 36 床）

●入院患者数（1 日平均）：565.1 人

●外来患者数（1 日平均）：1,232 人

●平均在院日数（一般病床）：14.6 日

●分娩件数：285 件

●救急医療の提供実績：第 3 次救急医療機関として指定を受け、1 日平均 6 台の救急車を受け入れるなど、地域住民への医療サービスの提供を図っています。

●医療法上の位置づけ：第 3 次救急医療機関

●救急取扱件数：8,978 件

●救急車取扱件数：2,349 件

●救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ●処遇

●研修手当（実績等による目安）：  
 【1 年次】320,000 円（月額、手当・税込）、3,840,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2 年次】320,000 円（月額、手当・税込）、3,840,000 円（年額、賞与・手当・税込）

●研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険

●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意

●宿舍の有無：有り

●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24 時間保育）  
 【その他】病児保育室

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ●研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：50 名

●応募資格：平成 29 年度医師臨床研修マッチングに参加し、平成 29 年度医師国家試験受験予定者

●応募必要書類：研修医採用申請書

●試験内容：(1) 面接 (2) 口頭試問

●申込締切日：1 回目：平成 29 年 7 月上旬(予定) 2 回目：平成 29 年 7 月中旬(予定) 3 回目：平成 29 年 8 月上旬(予定)

●試験実施日：1 回目：平成 29 年 7 月中旬(予定) 2 回目：平成 29 年 7 月下旬(予定) 3 回目：平成 29 年 8 月中旬(予定)

## ●現在の研修状況と進路

●研修中の人数：1 年次 26 名 うち女性 2 名  
 2 年次 28 名 うち女性 2 名

●研修医の主な出身大学：山形大学、秋田大学、宮崎大学、自治医科大学、日本大学、聖マリアンナ医科大学

●当直回数：2 回

●研修修了後の進路：山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院、米沢市立病院、山形市立病院済生館

●後期研修プログラムの有無：有り（全診療科）

## ●申し込み、問い合わせ先

国立大学法人 山形大学医学部附属病院  
 医学部総務課卒後臨床研修担当

990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2  
 TEL 023-628-5017 FAX 023-628-5019  
 E-mail isokoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## ●当院の臨床研修の特色

- 県災害拠点病院やがん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院などに指定されており、庄内地方の中核病院として高度医療を担う
- 選択診療科の期間を長くし、自由選択のオーダーメイド研修を実施。個人のキャリアパス形成に配慮
- 各診療科が配置され、ローテーションが可能
- 救命救急センターを含め経験できる症例数の多さと、指導医の充実
- 研修医室にインターネット環境を備えた専用机を配置。個人用ノートパソコンも貸与
- 研修医室に隣接した図書室に図書司書を配置。文献検索も容易

## ●プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：日本海総合病院臨床研修プログラム／内村 文昭

●研修スケジュール 募集人数 11 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 年次	内科						選択必修科	選択科	救急科				
2 年次	選択科						地域医療	選択科					

## ●協力型病院名（科目）

日本海総合病院酒田医療センター（内科・リハビリテーション科）	山形県立こころの医療センター（精神科、心療内科、児童・思春期精神科）
--------------------------------	------------------------------------

## ●協力施設

酒田市立八幡病院	地方独立行政法人那覇市立病院	山形県庄内保健所
山形県赤十字血液センター		

## ●教育体制

- 4月当初にコメディカル部門のレクチャーを含む2週間のオリエンテーションを実施
- 各部門代表者で構成される教育研修委員会が研修医を病院全体でサポート
- 院内勉強会を毎月1回開催。地区の医師会会員にも参加を呼びかけ
- 臨床病理検討会を毎月1回開催。主に研修医にプレゼンテーションを要請
- 研修医のための各診療科指導医による定期講義を毎週1回開催。
- 臓器別カンファレンスを消化器、呼吸器、循環器で毎週1回開催
- 日常診療は指導医のもとで行なう体制

## ●メッセージ

### ●指導医から一言

初期研修の間に経験できる症例や、体得できる手技の豊富さを維持し、フットワークの良い、将来を担う医療人とされるようにバックアップ体制が充実していると自負しています。

診療科間の障壁がなく、患者情報の交換も容易で、良好なコミュニケーションが指導を受けるうえで大きな利点となっているようです。

庄内の豊かな自然の下、最新の医療機器が整備された環境で、医療人としての第一歩を踏み出してください。スタッフ一同待っています。

### ●先輩研修医から一言

日本海総合病院の良さは第一に研修医への待遇の良さが挙げられると思います。働き出してからでないと実感することは難しいと思いますが、良い研修を行う上では働きやすい環境でモチベーションを保つことが必要不可欠です。この病院は、業務中には勉強会を含めた指導医からの指導が充実していることはもちろん、業務外の時間には機転が効く優しい秘書の方々のサポートを受けながら研修医しかいない広い研修医室でリラックスして自分の時間を使うことができ、これ以上ない程の素晴らしい環境を提供してくれます。

また、病院の周囲には築年数が浅く綺麗で広いレジデントハウス・大型スーパー・ドラッグストア・家電量販店が徒歩圏内にあり、生活する上で不自由することはありません。

この恵まれた環境の中で、医師としての第一歩を自分達と一緒に踏み出しませんか？

## ●病院理念

- 安心、信頼、高度な医療提供
- 保健、医療、福祉の地域連携
- 地域に貢献する病院経営

## ●診療内容

- 診療の特徴、実績
  - ・急性期医療を基本とした診療体制を構築し、外傷チームによる外傷初期診療の充実
  - ・北庄内から最上地域の急性期の循環器疾患に対する診療チームの充実
  - ・消化器内科によるESD治療の先駆的活動及び豊富な症例数
  - ・遠隔画像診断による夜間休日の画像診断サポート体制

### ●診療科・医師数

診療科名	内	循内	消内	内視鏡内	精神	神内	小児	緩和ケア内	外	乳外	心外	呼外	脳外
医師数	12	10	10	2	4	2	5	1	13	2	5	3	2
指導医数	5	5	5	0	1	2	4	1	4	1	1	1	1

診療科名	整形	形成	産婦	泌	眼	耳鼻	放	麻	救	病理	歯科口腔	合計
医師数	9	3	7	6	2	5	5	5	3	1	3	120
指導医数	3	1	2	1	1	1	3	1	2	0	1	47

- 許可病床数：646床（一般 642床、感染症 4床）
- 入院患者数（1日平均）：520.4人
- 外来患者数（1日平均）：1,402.6人
- 平均在院日数（一般病床）：11.7日
- 分娩件数：540件
- 救急医療の提供実績：平成17年12月、JR特急いなほ14号の脱線転覆事故（死者5名、負傷者32名）において、医師1名と救護班を事故現場に派遣し、医学的統括・トリアージ・治療にあたった。病院内においても113名の職員が緊急集合し、患者のトリアージと救命処置を行った。平成23年3月の東日本大震災においては、宮城県からヘリコプターで搬送された重症患者を受入れて治療にあたった。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：25,039件
- 救急車取扱件数：3,537件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ●処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】443,100円（月額、手当・税込）、6,000,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】459,100円（月額、手当・税込）、7,000,000円（年額、賞与・手当・税込）

- 研修医に対する各種保険等の適用：社会保険、雇用保険、厚生年金、労働者災害補償保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（通年24H開所（但し年末年始を除く）、基本保育 7:30～19:00、終夜保育、一時保育、病児病後児保育実施）

【その他】育児短時間勤務制度、医師短時間正職員制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ●研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：11名
- 応募資格：平成30年に医師免許取得見込みの者、又は新臨床研修制度における初期臨床研修未了の者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)成績証明書 (3)初期臨床研修医採用選考申込書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：試験日の2週間前
- 試験実施日：平成29年7月下旬（予定）

## ●現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 11名 うち女性 1名  
2年次 8名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：山形大学、東北大学、東京大学、弘前大学
- 当直回数：3回（当直は、1年次10月から開始）
- 研修終了後の進路：日本海総合病院、山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院、岩手県立胆沢病院、仙台厚生病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科）

## ●申し込み、問い合わせ先

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院  
総務課 臨床研修担当

998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地  
TEL 0234-26-2001 FAX 0234-26-5114  
E-mail kensyu@nihonkai-hos.jp

### ●当院の臨床研修の特色

当院の初期臨床研修プログラムは、「高い倫理観と豊かな人間性を有するとともに科学的妥当性に基づいた思考能力を備えた医師の養成」を基本理念として、様々な手技の習得はもとより、患者の人格を尊重しつつ診療を進めることのできる医師の養成を目指しています。

当院の初期臨床研修プログラムでは、選択必修科目である小児科を必修としてプログラムの前半の時期に設定しており、これにより市内で唯一の救急における小児入院施設となっていることへの対応が可能となり小児の多い救急の宿日直においても安心して従事することができるようになります。また、救急部門の研修を院内で行えることから、指導体制も充実しています。

更に、効果的に救急医療を経験したい場合は、第二当直（17:15～21:00）を希望により入れることもできます。

各科の隔たりがなく、相互に話がしやすい雰囲気の中で研修に取り組むことができるため、多くの経験を積むことができます。また、自由選択の期間が最大 11 か月と長く設定しており、自分の希望に沿ったプログラムの実施が可能 な仕組みとなっています。

### ▶プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：米沢市立病院臨床研修プログラム／大串 雅俊

●研修スケジュール 募集人数 5 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			小児科		選択必修
2年次	自由選択					地域医療			自由選択			

### ●協力型病院名（科目）

国立大学法人山形大学医学部附属病院（内科、呼吸器内科、小児科、精神科、外科、産科婦人科、皮膚科、放射線科、耳鼻咽喉科ほか）	
公立大学法人福島県立医科大学附属病院（内科、呼吸器内科、皮膚科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科ほか）	
公立置賜総合病院（内科、精神科、神経科（神経内科）、循環器科、小児科、外科、整形外科ほか）	
独立行政法人国立病院機構米沢病院（神経内科）	福島県立医科大学会津医療センター附属病院（感染症・呼吸器内科）

### ●協力施設

小国町立病院	三友堂病院	山形県置賜保健所
山形県赤十字血液センター		

### ▶教育体制

研修に先立って、院長、副院長をはじめとする各部門の責任者を講師として、医の倫理、医療安全、チーム医療、プライマリ・ケア、地域医療連携、各部門のガイダンス等のテーマで2週間のオリエンテーションを実施しています。

また、臨床病理検討会を年6回（剖検3回、生検・手術症例3回）行っているほか、医局会において臨床研修医の症例提示による死亡症例検討会を行っています。さらに、各科においても毎週それぞれカンファレンスや抄読会等が行われており、年度末には臨床研修医全員の症例発表会を行っています。

ほか、効果的に救急を経験したい場合は、第二当直（17:15～21:00）を自由に入れることも可能です。

### ▶メッセージ

#### ●指導医から一言

最先端の医療、設備などに心を動かされ、研修病院を決める研修医も多いと思いますが、初期研修の目的は、専門性にとらわれず日常診療の中で頻繁に遭遇する疾患、病態、症状に対し、必要な基本的臨床能力を身に付け、プライマリ・ケアに対応できる幅広い知識・技術を習得することです。当院は各科の連携が良く、病院全体で研修医を育てて行こうというアットホームな雰囲気があり、どの科で研修しているても、経験してほしい珍しい疾患があった場合は連絡が入ります。また、種々の手技を覚えてもらうため、上級医が横についてしっかりと教えるので、2年間が終了した時点では、自信を持って診療を行うことができます。

#### ●先輩研修医から一言

研修医生活の最初は採血などの手技から始まりますが、看護師さんから親切かつ具体的なアドバイスが色々ありました。給料は悪くないです。また、院内保育園もあるので、世帯持ちや再受験生でも働きやすいです。医局については、外科とICUと循環器内科が福島県立医大、脳神経外科と整形外科が東北大、それ以外が山形大学となっており、当然の様に助け合いの精神で仲が良く、その好例が全科当直です。実際には1人では大変なこともあるので、コンサルタントという名の援軍を呼ぶことができます。初期研修医にとってコンサルタントがしやすいというのは、精神的なストレスが減るので、とても重要なポイントだと思います。

初期研修の目的は人それぞれだと思いますが、地方の病院で求められるのは最低限のプライマリケアができるようになることだと思います。当院もその例に漏れず、救急外来をマスターすることがプログラムの根幹にあるので、その前提として、個々の内科疾患や外科疾患についてしっかりローテーションで学ぶ、という流れになります。小児科については米沢市内の小児科救急は全て当院で受けるので、自然と小児科にも強くなりますが、融通の利かないガチガチの研修スケジュールということではなくて、変更はかなり自由です。山形市から車で約1時間、福島市からも約1時間、仙台からも高速を使えば約1時間40分の距離にあります。新幹線なら東京から約2時間。歴史があって、米沢牛、米沢ラーメンを筆頭に美味しい食べ物が多くて、吾妻・飯豊・朝日などの大自然に囲まれて、冬は雪が多く、ウィンタースポーツにも適しています。是非一度、病院見学に来てください。

### ▶病院理念

当院の医療理念は、1 地域医療への貢献 2 安心できる医療 3 良質で公正な医療であり、次の医療方針を掲げています。

- 1 住民の医療・介護・保健・福祉に貢献するため、地域の中核病院として地域医療を担うとともに関係機関との連携に努めます。
- 2 説明と同意（インフォームドコンセント）の充実に図り、患者さんの人権を尊重し安全で安心できる医療の提供に努めます。
- 3 医療の質を高めるため、医学、医療の進歩を取り入れ「根拠に基づいた医療」を実践し、良質で公平な医療の提供に努めます。

### ▶診療内容

#### ●診療の特徴、実績

当院は、置賜二次医療圏の中核的役割を担う病院です。救急医療や専門医療を十分に行うことができる環境にあります。各診療科間の連携もよく、医療情報ネットワークなどのICTを活用し、医師会を含めた地域医療連携が非常にうまくいっています。悪性新生物や循環器疾患をはじめ様々な疾患に対し高度な治療ができるよう、高度医療機器、設備の充実に努めています。これらの特長を活かし、経験豊富なスタッフの指揮のもとで基本的な診療技能を身に付けることができます。

#### ●診療科・医師数

診療科名	循内	消内	糖尿・内分	呼内	小児科	外科	乳腺	整形	脳外	皮膚科	泌尿器	産婦	眼科
医師数	4	3	-	-	4	3	1	3	3	-	1	3	2
指導医数	3	1	-	-	2	3	1	1	1	-	1	2	1

診療科名	耳鼻	麻酔科	形成	神内	心外	放射線	病理科	ICU・集中	精神科	救急・共有	ドック	合計
医師数	1	2	-	-	1	2	-	1	-	-	1	35
指導医数	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	20

- 許可病床数：322床（一般322床）
- 入院患者数（1日平均）：264.4人
- 外来患者数（1日平均）：646.6人
- 平均在院日数（一般病床）：12.8日
- 分娩件数：299件
- 救急医療の提供実績：当院は、市内の他の救急告示病院とともに病院群輪番制による地域の救急医療体制の役割を担っており、月の半分は当番病院として救急医療に当たっています。また、輪番日以外の夜間や休日も、全診療科の救急患者の受け入れを行っており、市内のほか近隣1市2町からの救急搬送患者を受け入れるなど置賜地域の中核病院としての機能を果たしています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：10,141件
- 救急車取扱件数：1,624件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【http://www.reisjp.org/common/ad0.php】

### ▶処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】411,800円（月額、手当・税込）、5,501,040円（年額、賞与・手当・税込）【2年次】427,500円（月額、手当・税込）、6,142,150円（年額、賞与・手当・税込）

- 研修医に対する各種保険等の適用：1年目 健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険 2年目 山形県市町村職員共済組合（健保）、共済年金、地方公務員災害補償制度

- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7:30～18:30 延長は19:30まで 土曜日は18:00まで）火・木曜日は夜間保育有り

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

### ▶研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5名
- 応募資格：医師免許取得後、5年以内の者
- 応募必要書類：(1)卒業（見込み）証明書 (2)履歴書 (3)臨床研修医採用選考申込書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：1次募集 マッチング中間公表の日まで 2次募集 随時
- 試験実施日：随時（応募者と相談の上決定）

### ▶現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 1名 うち女性 0名 2年次 2名 うち女性 0名

- 研修医の主な出身大学：山形大学
- 当直回数：4回（当直は、6か月経過後から開始）
- 研修修了後の進路：平成27年3月に修了した研修医なし
- 後期研修プログラムの有無：有り（循環器内科、消化器内科、小児科、放射線科、外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、集中治療科、病理科）

#### 申し込み、問い合わせ先

#### 米沢市立病院

#### 事務局総務課総務担当（病院見学は、当院ホームページをご覧ください。）

992-8502 山形県米沢市相生町6番36号

TEL 0238-22-2450（内線4310）FAX 0238-22-2876

E-mail bsoumu-ka@city.yonezawa.yamagata.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院は、山形県南の置賜地域において唯一の救命救急センターを要する基幹病院であり、ほぼすべての救急患者が当院に搬送されるため、あらゆる救急患者を受け入れ、様々な症例を経験することができ、プライマリ・ケアには最適な病院です。さらに、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、感染症指定医療機関にも指定され、専門性の高い疾患も経験できます。

山形市内からは車で40分ほどの、のどかな田園地帯に病院はあります。一見地味に見えるかもしれませんが、救命救急センターには救急車がひっきりなしに出入りしています。

当院で中身の濃い研修をして、逞しい医師になりましょう。

## ●プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

●プログラム名／プログラム責任者 : 卒後臨床研修プログラム／江口 英行  
 ●研修スケジュール 募集人数8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急		選択必修		自由選択	
2年次	地域医療	自由選択										

## ●協力型病院名 (科目)

山形大学医学部附属病院 (皮膚科、形成外科)	米沢市立病院 (麻酔科ほか)
------------------------	----------------

## ●協力施設

公立置賜長井病院 小国町立病院	公立置賜南陽病院 白鷹町立病院	公立置賜川西診療所 山形県置賜保健所
--------------------	--------------------	-----------------------

## ●教育体制

- 臨床研修管理委員会が中心となり、研修医の教育体制の整備を行っています。
- 週1回のカンファレンスの他、救急医療講習会、臨床病理検討会、各科からの症例等の発表や外部講師を招いての特別講演会など月1回程度開催しています。
- 90名近い常勤医 (うち50名程度が指導医講習会を受講済み) が在籍していることから、手厚く細やかなマンツーマンの指導体制を原則として、可能な限り多くの手技を研修医自らが実際に体験できるような体制としています。
- 救命救急センターにおける宿日直研修の際には、自分の希望する診療科 (研修中以外の診療科でも可) の指導医の下での研修が可能です。
- 学会や研究会への参加も自由です (旅費支給あり)。

## ●メッセージ

### ●指導医から一言

放射線科の初期研修では、ERで困らない画像診断ができることを目標にしています。具体的には、今まで蓄えられた、多数の救急症例ファイルを自分で画像診断して、所見を報告書に記載し、それを指導医がチェックするという形で画像診断の研修を行います。救急症例のファイルは、腹痛、胸痛、頭痛、外傷、不明熱など多数の病態の症例を準備しています。今まで研修した研修医の先生からは、自分で画像診断力が目に見えて向上したと好評です。また、救急症例以外にも、腫瘍を含めたありとあらゆる画像診断の研修が可能です。IVRも血管拡張術、肝癌などの塞栓術、出血の治療、ドレナージ、生検などを多数行っており、初期研修医は血管形成術の術者、塞栓術の助手までは経験可能です。

### ●先輩研修医から一言

研修1年目の網干と申します。現在研修中の救命救急について書きたいと思います。  
 救急研修といえば、新研修医にとっては希望科の次に気になる分野だと思います。僕自身、様々な訴えで来院される患者さんを一人で診られるのか、とても不安でした。  
 当院では夜間当直中も上級医が常にスタンバイしており、いつでも一緒に診療をし、相談に乗って下さいます。また指導熱心な先生が多く、救急で研修をしながら他科のアドバイスを頂ける機会がとても多いです。  
 また医師だけに限らず、経験豊富な看護師や検査技師に初期対応から手技、症例に併せた検査方法に至るまで、様々な事を学ぶことができます。診療科や職種の垣根が低いことは、置賜総合病院の特色であると感じています。

## ●病院理念

- 『心かよう信頼と安心の病院』
- 1 患者本位の医療を展開します。
  - 2 高度・救急医療を提供いたします。
  - 3 健全育成の確保に努めます。
  - 4 人材を育成いたします。
  - 5 地域連携の推進に努めます。
  - 6 快適な療育環境を提供いたします。

## ●診療内容

●診療の特徴、実績  
 当院は、山形県の南3分の1を占める置賜地域の高度医療を担う拠点として、隣接する2市2町と山形県が協力し設立、平成12年に診療を開始した病院です。CT、MRI、リニアック、バイオクリーン手術室等の医療機器、設備を備えているほか、診療録は電子カルテを採用しております。また、救命救急センターを併設しており、脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等の救急患者に迅速に対応するため、専門の医師、看護師が24時間体制で待機し治療にあたるなど、置賜二次医療圏のみならず、山形県南部の三次救急医療の中核を担っています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	消内	循	精	神内	外	整	心外	泌	脳外	眼	耳鼻	麻	救	放
医師数	12	11	5	4	1	10	8	1	3	3	2	3	2	4	3
指導医数	7	6	4	2	1	6	5	0	1	2	1	2	2	4	1

診療科名	病理	産婦	小	呼外	総合	合計
医師数	1	4	4	2	1	84
指導医数	1	2	2	2	1	52

- 許可病床数 : 520床 (一般476床、精神20床、感染症4床、救急20床)
- 入院患者数 (1日平均) : 435.3人
- 外来患者数 (1日平均) : 953.6人
- 平均在院日数 (一般病床) : 13.4日
- 分娩件数 : 503件
- 救急医療の提供実績 : 当院にはICUとして8床、HCUに12床のベッドとヘリポートを有する救命救急センターが併設されており、山形県南部、医療人口23万人の置賜二次医療圏の核として患者を受け入れています。初診は救命救急センターの医師が担当し、必要に応じ各科の専門医が24時間オンコール体制により診療にあたっています。
- 医療法上の位置づけ : 第3次医療機関
- 救急取扱件数 : 21,959件
- 救急車取扱件数 : 3,774件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ●処遇

- 研修手当 (実績等による目安) : 【1年次】356,584円 (月額、手当・税込)、6,000,000円 (年額、賞与・手当・税込)  
 【2年次】374,680円 (月額、手当・税込)、7,800,000円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (基本保育7:30～18:30、延長保育6:30～7:30、18:30～19:30、夜間保育 水曜・木曜18:30～7:30)
- 【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ●研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 8名
- 応募資格 : 平成30年4月30日までに医師免許を取得する見込みの者。平成16年4月1日以降に医師免許を取得した者で、医師法第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を行っていない者。
- 応募必要書類 : (1)平成30年度臨床研修医申込書 (2)履歴書 (3)成績証明書
- 試験内容 : 面接試験
- 申込締切日 : 平成29年7月末日の予定
- 試験実施日 : 随時実施

## ●現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1年次 7名 うち女性 2名  
 2年次 8名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学 : 山形大学、自治医科大学、福島県立医科大学、弘前大学、帝京大学
- 当直回数 : 月平均5回 (正規当直医の指導の下で「副直」としての勤務となります (研修医単独の当直はありません。))
- 研修修了後の進路 : 公立置賜総合病院、山形大学
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (全ての診療科において可能です。)

## ●申し込み、問い合わせ先

公立置賜総合病院  
 総務企画課  
 992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000  
 TEL 0238-46-5000 FAX 0238-46-5711  
 E-mail [soumu@okitama-hp.or.jp](mailto:soumu@okitama-hp.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 庄内南部地域の基幹病院で、521床、25の診療科を持ち、プライマリ・ケアから2次救急、がん診療まで豊富で広範な症例を通して充実した研修ができます。
- 必修が内科6カ月、救急部門3カ月、地域医療1カ月、選択必修が2カ月(2科を1カ月ずつ)で、残り12カ月ほどを選択科研修にあてることができます。ローテーションは研修医自身で決め、変更・延長等には柔軟に対応できます。
- 救急部門は、救急外来2カ月、2年次に宿日直を月2～3回行うことで1カ月相当とし3カ月を確保します。地域の救急医療を一手に担い、救急車搬送4,200件を含む年間17,600人の救急患者が受診しており、救急診療を十分に研修できます。
- 定数5名の少数制のため、マンツーマン指導により多くの症例・手技経験を積み、知識・技術を確実に学ぶことができます。また、診療科間の垣根もなく日常的に医局内で交流があり、医師への相談や知識・技術の吸収がしやすい環境です。
- 必修の地域医療研修では、リハビリ病院、開業医、在宅医療、介護施設等で、本当の地域医療に接することができます。
- 県周産期母子医療センター、県がん診療連携指定病院、地域医療支援病院、災害拠点病院であるほか、チーム医療の推進や地域医療連携パスの開発・推進にも積極的に取り組んでおり、医師に必要な様々なスキルを身につけることができます。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者：鶴岡市立荘内病院臨床研修プログラム／五十嵐 裕一
- 研修スケジュール 募集人数5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション(0.5月)、内科		救急部門		内 科		救急部門		選択必修		選択科	
2年次	地域医療		選択科									

### ●協力型病院名 (科目)

山形県立こころの医療センター (精神科)

### ●協力施設

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 山形県庄内保健所

## ■教育体制

- 少数制の利点から、希望を最大限尊重したローテーション決定とマンツーマンの研修で、可能な限り多くの症例・手技を経験できる体制。
- 4月にオリエンテーションを実施 (電カル研修、医療安全対策、保険診療学習、中央検査科研修、看護体験、救急車搭乗、BLS研修等)。
- CPC (臨床病理検討会) を年に10回程度開催。
- 学会、研究会等への参加が可能 (旅費、参加費を支給)。
- 研修医室は、総合医局、中央図書室に隣接。個々に専用デスクを貸与。
- 医学中央雑誌 Web版、UpToDateWeb版などの論文検索環境。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院の特徴は、①庄内二次保健医療圏南域の急性期、重症患者が1ヶ所に集まる地域の基幹病院であること ②専属医師を含む多職種よりなる緩和ケアチームが診療科の枠を超えて精力的に活動していること ③NICUを有する山形県地域周産期母子医療センターであることです。各診療科の指導体制も充実しています。当院での研修期間は多忙な2年間となりますが、プライマリ・ケアから高度医療まで学ぶことができ、充実した毎日を過ごせることと思います。病院・医師会・地域社会をあげて臨床研修医の皆さんを応援していますので、医師としての第一歩を当院で踏み出してみませんか。

### ●先輩研修医から一言

研修病院をえらぶときにどのようなことを重要だと考えるでしょうか。指導体制、経験できる症例の数、日当直のシステム、はたまたお給料など様々なファクターがあると思います。ですが、正直選ばなければいけない時には、その実態はよくわからないと思います。(少なくとも私はそうでした。) いざ、その病院で勤務し、学び、臨床の場で戦い始めて、初めて理解できる気がしています。ただひとつ言えることは、この病院を選んで良かったということです。勿論、すべてに満足しているとは言いませんし、完全無欠な病院などそもそも存在しません。でもこの病院は研修医を育てる場としては、非常に良い環境だと思います。実際に働き始めて感じたことをいくつかご紹介します。

荘内病院は人口約15万人を有する南庄内地域唯一の基幹病院で、日々たくさんの症例が集まってきます。救急車の受入台数は年間約4,200件、救急受入患者数は年間17,000件と、全国でもトップクラスです。これは研修医がタッチできる症例数に直結してくると思います。研修医の間にはできるだけたくさんの症例を学んでおきたいという方にとっては本当に良い環境です。

基幹型研修医の募集人数は5人と、全国的にみると少ないです。しかし、研修医同士で手技や症例を奪い合う必要がありませんし、ローテーションなど自由に決めることも可能で、5人という人数は、小回りの利くちょうど良い人数だと実感しています。

また荘内病院は、病院全体の雰囲気が非常に良いです。上級医や看護師、その他コメディカルの方とコミュニケーションがとりやすく、とても仕事のしやすい環境だと思います。病院の雰囲気は、見学に来るだけでも感じ取って頂けると思います。気になった方は是非一度見学にお越し下さい。

## ■病院理念

- (1) 診療圏域住民の生命と健康を守り、高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化しながら、基幹病院として地域医療の充実に努める。
- (2) プライバシーの尊重とアメニティの向上に配慮し、患者が安心と満足が得られる、快適な療養環境の整備に努める。
- (3) 医師や看護師をはじめ、病院で働く職員が一致協力し、心のこもった患者サービスの向上に努める。
- (4) 医療従事者の教育と臨床研修を重視し、市民から信頼され、地域医療に貢献できる、質の高い医療人の育成に努める。
- (5) 医療環境の変化に対応できる経営方針を確立し、安定した経営の基盤づくりに努める。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
  - ・プライマリ・ケアから高次医療までを担う基幹病院で、平成25年に創立100周年を迎えました。
  - ・地域医療支援病院として、地域医療機関との機能分担・連携を推し進めています。
  - ・県地域周産期母子医療センターとしてNICU、GCUを有し、庄内の周産期高次医療を担っています。
  - ・県がん診療連携指定病院として、緩和ケア、がん化学療法外来、放射線治療等がんの集学的治療に取り組んでいます。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳外	呼・心外	小外	皮膚科	泌尿器科	産・婦
医師数	7	1	2	3	4	8	8	8	0	2	2	1	1	2	3
指導医数	3	1	0	1	2	3	3	1	0	2	1	1	1	1	1

診療科名	眼科	耳鼻	放射線科	歯口外	麻酔科	病理科	合計
医師数	0	1	1	3	4	2	63
指導医数	0	0	1	0	2	0	24

- 許可病床数：521床 (一般521床)
- 入院患者数 (1日平均)：4346人
- 外来患者数 (1日平均)：705.4人
- 平均在院日数 (一般病床)：14.4日
- 分娩件数：221件
- 救急医療の提供実績：救急告示病院として24時間体制の救急センターを運営しており、地域の二次救急医療を一手に担っています。平成27年度は、救急外来患者が17,619人、うち診療時間外が13,190人、救急車搬送が4,248件 (うち診療時間外が2,851件) となっています。海・山に囲まれた土地柄もあり、症例は多岐に渡ります。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：17,619件
- 救急車取扱件数：4,248件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安)：【1年次】568,000円 (月額、手当・税込)、6,820,000円 (年額、賞与・手当・税込) 【2年次】819,000円 (月額、手当・税込)、9,829,000円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：1年次 健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険  
2年次 山形県市町村職員共済組合、厚生年金、地方公務員公務災害補償制度
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り (7:50～19:30 年末年始は休み) 【その他】産前・産後休暇 (それぞれ8週間)、育児休業制度 (子が3歳に達するまで)、育児短時間勤務・部分休業 (子が小学校に就学するまで)

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5名
- 応募資格：平成30年4月30日まで医師免許を取得する見込みの者
- 応募必要書類：(1) 初期臨床研修医採用選考申込書 (2) 履歴書 (写真貼付) (3) 大学の卒業 (見込) 証明書 (1) (2) は、ホームページの臨床研修医募集サイトからダウンロード可。
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年7月末 (予定。詳しくは当院HP募集サイトへ)
- 試験実施日：平成29年7月～8月に随時 (予定。その他の日程は応相談。詳しくは当院HP募集サイトへ)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 5名 うち女性 1名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：新潟大学、山形大学
- 当直回数：3回 (当直は1年次7月以降で、1年次は当直医の補佐として研修)
- 研修終了後の進路：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、聖マリア病院、九州医療センター、三重大学医学部附属病院、宇治徳洲会病院
- 後期研修プログラムの有無：有り (内科系、外科系、周産期医療、その他の診療科についてはお問合せください。)

### 申し込み、問い合わせ先

鶴岡市立荘内病院 997-8515 山形県鶴岡市泉町4番20号  
TEL 0235-26-5111(代表) FAX 0235-26-5110(代表)

総務課 臨床研修担当 E-mail [rinken@shonai-hos.jp](mailto:rinken@shonai-hos.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- ① 充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで、救急医療の現場を多数経験できます。(年間の救急患者は約1万2千名)
- ② 一次から三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することにより、プライマリケアの基本的診療能力が習得できます。
- ③ 地域内の町立病院、村立診療所、保健所等を含めた研修を行うことにより、地域医療の実際を体得できます。
- ④ 充実した研修が行えるよう、あえて募集人員を1年次4名に限定しています。
- ⑤ 臨床経験年数7年以上の医師は36名在籍しており、そのうち26名が厚生労働省の指定する指導医講習会を受講した指導医です。
- ⑥ 宿日直は、一年次は指導医と一緒に副担当として研鑽を積みます。二年次は単独で従事しますが、第二宿日直やICU宿日直の指導医がサポートしてくれるほか、全ての診療科についてオンコール体制が整備してあります。
- ⑦ 一人当たり年間66万円(平成27年度実績)の医師研究調査事業費があり、学会への出張旅費や医学雑誌、関連機器の購入に充てることができます。
- \* 新庄病院プロモーション動画を当院のホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : 山形県立新庄病院臨床研修病院群基本研修プログラム／廣野 摂
- 研修スケジュール 募集人数 4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科							救急	選択必修 (外科・小児科・産婦人科・麻酔科・精神科、2科目以上選択、1科目1月以上)				
2年次	選択必修	地域医療	自由選択 (必修・選択必修科目に加え、整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・地域保健)										

## ●協力型病院名 (科目)

山形県立こころの医療センター (精神科)	新庄明和病院 (精神科)
----------------------	--------------

## ●協力施設

山形県最上保健所 戸沢村中央診療所 秋野病院	最上町立最上病院 三條医院 大蔵村診療所	町立真室川病院 山形県赤十字血液センター
------------------------------	----------------------------	-------------------------

## ■教育体制

- ・各部門を巡回するオリエンテーション (4月第1週に5日間) を実施しています。
- ・10ヶ月の自由選択研修を取り入れるなど、研修医の皆さんのニーズに多様に対応できる研修カリキュラムとなっております。
- ・少人数 (4名/年) の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの研修を行います。
- ・毎月研修医が宿日直で診察した救急患者の処置について、院内全体でカンファレンスを実施しています。
- ・研修医と指導医が、毎週 Journal Reading を行っており、英文の論文読解力が養えます。
- ・最上地域メディカルコントロール協議会と連携したメディカルコントロール症例検討会に研修医が参加しています。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

医師臨床研修制度では、プライマリ・ケアの基本的診療能力(態度・技能・知識)の獲得をその目標に据えています。ではどこまでがプライマリ・ケアなのでしょうか。プライマリ・ケアとは、地域に住む人々のあらゆる健康上の悩みや疾病に最前線で触れ(ファーストタッチ)、総合的・全人的に対応することです。山形県立新庄病院は新庄最上二次医療圏における唯一の中核病院です。二次医療圏の中で一般病床の60%を抱える当院においてこそ本物のプライマリ・ケアを習得することが出来ます。責任は重大ですが、当院のスタッフはみな、この地域に住む人々の疾病に関する「全て」に対応していることを誇りに感じています。少ないスタッフで多くの症例をこなす信頼を得ていくためのノウハウが詰まっています。是非、一緒に勉強しましょう。

### ●先輩研修医から一言

様々な病院見学をした中で雰囲気の良い決め手となりました。マンツーマンの指導体制も魅力的でした。病院スタッフはとても熱心で親切で、日々学ぶ研修環境は整っています。立地は新庄駅から近く、必要な公共機関や店も全て徒歩圏内に集中しているので単身でも便利です。興味を持たれた方は一度見学されてみてはいかがでしょうか。将来の選択肢が広がる体験となれば幸いです。

## ■病院理念

- 理念  
「仁」、「愛」、「和」の心をもって、地域住民に信頼を安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。
- 基本方針
  - 1 患者さんとその家族の方々の権利を尊重した患者中心の医療を推進します。
  - 2 病院機能のじゅうじつを図り、医療安全の確保、医療水準の向上に居努めます

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
  - ・山形県最上二次保健医療圏唯一の基幹病院です。
  - ・救急告示病院として、地域のほとんどの救急患者が搬送されます。(年間の救急患者は約1万2千人、うち救急による搬送が約2千人)
  - ・へき地医療拠点病院として、地域の町立病院、村立診療所と連携し、画像診断システム等を活用した遠隔医療を推進しています。(年間約900件)
  - ・山形大学や東北大学など東北地域の大学病院との交流を活発に行っています。

## ●診療科・医師数

診療科名	内科	外科	小児科	産婦人科	麻酔科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	形成外科	整形外科	脳神経外科	救急部門	合計
医師数	11	7	4	4	1	1	2	2	3	3	2	4	2	1	47
指導医数	4	4	3	2	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	18

- 許可病床数 : 454床 (一般452床、感染症2床)
- 入院患者数(1日平均) : 62.9人
- 外来患者数(1日平均) : 799.7人
- 平均在院日数(一般病床) : 14.6日
- 分娩件数 : 526件
- 救急医療の提供実績 :
  - ・救急指定病院として、地域のほとんどの救急患者が搬送されています。
  - ・1日32.8人、うち救急車搬送5.8人(平成27年平均)の救急患者を受け入れています。
  - ・消防本部と連携し、地域メディカルコントロール体制の中心として、救急患者の救命率の向上に努めています。
- 医療法上の位置づけ : 2次医療機関
- 救急取扱件数 : 11,973件
- 救急車取扱件数 : 2,153件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当(実績等による目安) : 【1年次】354,380円(月額、手当・税込)、おおよそ5,500,000円(年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】372,476円(月額、手当・税込)、おおよそ7,000,000円(年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償法額
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】無し

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 4名
- 応募資格 :
  - ・平成30年4月30日までに医師免許を取得する見込みの者
  - ・平成16年4月1日以降に医師免許を取得した者で医師法第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を行っていない者
- 応募必要書類 : (1)履歴書(写真添付) (2)採用選考申込書 (3)成績証明書
- 試験内容 : 面接
- 申込締切日 : 研修医マッチング中間公表日の前々日
- 試験実施日 : 研修医マッチング中間公表日の前々日まで随時(選考日程は、後日応募者に対して通知する。)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数 : 1年次 0名 うち女性 0名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学 : 岩手医科大学
- 当直回数 : 約4回(当直は2年次から開始)
- 研修修了後の進路 : 米沢市立病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り(総合内科、循環器内科、外科、整形外科、形成外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科)

## ■申し込み、問い合わせ先

山形県立新庄病院 総務課 庶務係	996-0025 山形県新庄市若葉町12-55 TEL 0233-22-5525(代表) FAX 0233-23-2987 E-mail yshinbyo@pref.yamagata.jp
---------------------	--



## ●当院の臨床研修の特色

当院では2005年に、管理型臨床研修病院の指定を受け、現在40名の厚生労働省指定の指導医講習会を受講した指導医が在籍しており、積極的に研修医の指導を行っております。最も重点を置いているのは1年次からの内科、救急（外科）研修であり、実践を通してのプライマリーケアの修得を始めとする医師としての全人的教育であります。また、2年次での8ヶ月から最長12ヶ月の選択科は、研修医の自由裁量に任せ、単科から複数科での研修が可能となっており、多彩で充実した臨床研修が受けられるものと確信しております。済生会グループの強みを生かし、協力型病院でのたすきがけプログラムにも積極的に取り組んでいます。

2010年には、山形県内初となるNPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審、認定を受けました。この評価を受け当院では、臨床研修病院としての態勢をさらに発展させ、病院全体で研修医を育成する環境づくりに努力しています。今後さらに研修医の成長と充実した教育を図るとともに、病院スタッフ全員で活気あふれる病院づくりを目指していきたいと考えております。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：済生会山形済生病院臨床研修プログラム／折田 博之
- 研修スケジュール 募集人数8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			選択必修		
2年次	選択必修			地域医療			選択科					

## ●協力型病院名（科目）

山形大学医学部附属病院（精神科、選択科）			千歳篠田病院（精神科、選択科）		
栃木県済生会宇都宮病院（麻酔科、救急科、選択科）			水戸済生会総合病院（麻酔科、救急科、選択科）		

## ●協力施設

白鷹町立病院		済生会岩泉病院		済生会小樽病院	
介護老人保健施設フローラさいせい		佐藤眼科医院銅町クリニック			

## ■教育体制

採用時オリエンテーションでは他職種の新人と4日間の研修を共にし、同期の仲間と知り合う機会があります。その後はコメディカル部門や医療相談室等の実習、更には病棟看護師の夜勤体験も行い、医師としての視野を広げ人間性を養うことができます。その後のローテーションでは、各科のカンファレンスにも参加しています。指導医による抄読会も月に一度程度行われるほか、漢方等の勉強会の開催、CPCにおける症例発表等も研修医に担当してもらうなど、積極的に学ぶ姿勢を大切にしています。1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式であるため、指導医とのコミュニケーションが取りやすく、円滑な研修を行うことが出来ます。また、選択科は1年次後半までに決めれば良いので、各科ローテーションの中でより自分にあった科を選択することが出来ます。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

2006年度より研修医の公募をはじめ、今年度で10年目になります。2010年NPO法人卒後臨床研修評価機構による認定を受けたことにより、さらに当院における研修内容の質の向上を目指しております。研修1年次は、プライマリ・ケアの中心となる重要な知識・手技を学ぶ時期であり、医師としての基本的な能力（Competency）を修得する時期でもあります。私達は知識だけでなく、実際に診療、治療できる医師を育てるべく、指導医とのマンツーマンでの指導体制をとっており、充実した研修生活と成果が得られるものと確信しております。

### ●先輩研修医から一言

山形済生病院は職員一丸となって、患者さん中心の愛のある医療を目指しております。救急外来においては、common diseaseを中心に多くの症例を経験しています。研修医自ら、診察・検査・治療を行いながら、直に指導医の先生のフィードバックを受け、瞬時に診療に活かすことで臨床能力が高まるのを実感でき、モチベーションに繋がっています。当院は中規模病院のため各部門の繋がりが強く、良好なチームワークの中で研修医をサポートして下さる環境があります。病院の雰囲気や環境は1朝1夕の築き上げられるものではなく、山形済生病院の長い歴史の中で、先輩方が築いてこられた誇れる伝統です。指導医の先生方をはじめスタッフの方々を、医療人として社会人の先輩として尊敬し、日々多くの影響を受けております。医師として研鑽を積みながら、人間性を磨くことのできる環境であることに感謝しています。私は、山形済生病院で研修することを選び、その選択は正しかったと思います。当院と一緒に学びましょう！

## ■病院理念

MISSION：「仁」・・・愛と思いやりの医療を提供します。  
 VALUE：安全で質の高い医療・誠実で信頼される医療・連携に基づくチーム医療  
 済生会山形済生病院憲章

1. 病院は患者中心の医療を第一義とする。
2. 病院は済生会創立の理念を基本とし、その公共性を認識し地域の人々に差別なく、保健・医療及び福祉のサービスを提供する。
3. 病院に勤務するものは、常に誠意を持って職務に精励し、信頼される病院づくりに努める。
4. 病院に勤務するものは、それぞれの職務において専門的・倫理的医療の提供を心がけ、日々その水準の高揚に努める。
5. 病院に勤務するものは、診療に記録を完備するとともに、患者の秘密は、正当な理由なく決して他に漏洩しない。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

県内唯一の公的医療機関として、村山二次医療圏の中核的病院として、ICU・NICUの設置やチーム医療の充実など高度・急性期医療を担う他、健康増進センター「めぐみ」の設置やPET/CTセンターの開設など予防医学の分野にも貢献している病院です。また、診療においては急性期医療に対応すべく最新の医療機器を整備、各科がそれぞれの専門領域の質の向上に努めているほか、全7室ある手術室の2室をバイオクリールームにするなど、施設整備においても充実を図っています。

### ●診療科・医師数

診療科名	呼内	循内	消内	腎内	糖内	神内	外・乳腺外	心外	脳外	整形	リハビリ	産婦	小児	麻酔	放	泌	合計
医師数	7	3	4	1	4	1	6	3	3	12	1	6	4	3	2	2	62
指導医数	4	3	2	1	3	1	6	3	1	6	1	2	2	3	2	2	42

- 許可病床数：473床（一般473床）
- 入院患者数（1日平均）：357.7人
- 外来患者数（1日平均）：726.4人
- 平均在院日数（一般病床）：16.2日
- 分娩件数：768件
- 救急医療の提供実績：救急当直医は夜間1名、休日の日中は内科系と外科系各1名の体制となっております。更に各科拘束医がバックアップ体制を取り、1ヶ月平均110件以上の救急搬送に対応しております。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：4,652件
- 救急車取扱件数：1,545件
- 救急医療を行う診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、泌尿器科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】450,000円（月額、手当・税込）、6,000,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】520,000円（月額、手当・税込）、6,800,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（基本保育：7:00～19:00 延長保育：19:00～21:00 夜間保育：16:00～翌10:00 利用金額（月額）30,000円（年齢問わず）、二人目からは半額15,000円）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：8名
- 応募資格：平成29年度医師免許取得見込みの者、および平成16年度以降に医師免許を取得した者で臨床研修を受けていない者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)成績証明書 (3)卒業見込証明書 (4)健康診断書
- 試験内容：(1)書類選考 (2)面接
- 申込締切日：一次締切は平成29年8月末を予定
- 試験実施日：平成29年7月末～9月初の間数回を予定。詳しくは当院ホームページをご参照ください。

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 3名 うち女性 0名  
 2年次 5名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：山形大学、獨協医科大学
- 当直回数：4回/月（月1回の日直勤務あり。日直・当直は指導医・上級医との副直体制）
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学附属病院、慶応義塾大学医学部附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、外科・乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、放射線科）

## ■申し込み、問い合わせ先

社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院  
 人事課（医局）

990-8545 山形県山形市沖町79-1  
 TEL 023-682-1111 FAX 023-682-0122  
 E-mail rin-ken@ameria.org